

第一ユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	13	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念はもとより、運営指針を掲げ、職員は入居者の人格を尊厳し、心の通い合うサービスに日々邁進している。	1	玄関や事務所、廊下等に基本理念・運営指針・職員の心構えを掲げ、常に利用者の為のサービスに心掛けるようにしている。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	すべての職員が理念の重要性を周知すると共に、理念の実現に向けた取り組みは、日々実践されている。	1	朝礼時の朗読。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	日常生活の中で、機会あるごとに理念を重んじ、利用者に接していることを語りかけ、また家族や地域の人々にも、地域密着型サービスに徹し、支援している姿を見ていただくようにしている。	1	家族ぐるみの食事会。
		2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接する施設には幅広い年齢層の方がおられ、常に声かけを行い、お茶にお誘いしたり、将棋を一緒にされたり、自家栽培の野菜で調理をしたりなど、幅広いお付き合いができています。	1	隣接するケアハウスの方との将棋、映画鑑賞や通所授産施設の利用者の方たちとのフラワーアレンジ教室などの交流。
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事は広報誌等で把握しており、入居者にも配布を行い、ご意向にそって参加している。	1	利用者の体調やご意向に沿って地域の活動に参加し、人々のふれ合いや交流に努めている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域主催の行事の参加、また、関連施設の行事の参加の機会も多くあるため、交流を深めていくようにしている。気軽にホームの見学や遊びに来ていただくなどの体験を行えるようにしている。	1	地域交流スペースの開放や関連施設の見学等を随時行っている。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価実施に至るまでの経緯を念頭に置き、日々研鑽している。意義は十分に理解し認識した上で、利用者を第一としたケアの改善に向けた努力をしている。	1	月毎の定例会議を開催し問題点・課題などの情報を共有している。また介護日誌、申し送りノート、定例会議議事録等での周知徹底を行っている。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者や家族が希望する病院の受診、外出、買い物エリアの拡大等、具体的な意見を頂き、改善に結び付けている。	1	利用者が長年生活してきた地域での生活を考慮し、行きつけの歯科・床屋・美容室・雑貨店を利用している。また月曜日の野外レクにおいては季節感を味わって頂く為のドライブや在宅生活では利用していなかった店舗などに出かけ好評である。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域主催の催し物や選挙等に関しても、ホームの現状を理解して頂き、市町村担当者に相談し、協力をお願いしている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	青年後見制度の活用について、利用者や家族に説明し、アドバイスを行っている。職員も理解している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場研修にて実施している。虐待防止には細心の注意を払っている。	0	職員間の意識向上の為に9時、16時のバイタルチェックや入浴時に身体の状態観察を特に心掛けている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	4	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を基に再確認をし、利用者や家族の意向を十分に聞き入れ、納得のいくまで話し合いを行っている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者や職員は随時対応している。ご家族への報告や専門的知識のある方への相談をし、迅速な対応を常に心掛け、早期解決に向けて全力を挙げている。	1	管理者、職員は柔軟な対応を心がけ、ご家族への報告や専門的知識(医者・OT・PT・NS)の方への相談等も行い対応している。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に必ず報告を行うようにし、来訪の機会の少ない家族には、電話にて近況報告を実施している。	1	利用者の希望に基づき、家族への連絡を行っている。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の相談や電話による相談も、家族が気兼ねなく出来るように心掛け、充分に対応出来る体制をとり、貴重なご意見として受け止め協議し、改善に結び付けている。	1	来訪されたご家族には職員も話しかけ、利用者に関することなども伺っている。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は必ず聞き入れ、協議し、実践に移している。定例会議により職員の意見を聞く機会も多く、実践に向けた取り組みを行っている。	1	職員は運営者や管理者との距離感はなく定例会議での自由な発案・発言、申し送りノートに記載された問題点・課題点もホーム全体で改善を目指している。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者のより良い生活を確保し支援するためにも、柔軟な対応が出来るだけの職員を確保している。また必要に応じて調整は随時行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 め を の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の気持ちを第一に考え、ダメージを防ぐ配慮をしている。後任についても引き継ぎをスムーズに行い、余裕を持って対処している。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	1
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	窓口は広く設け、求職者の意向を十分に聞き入れ、働く意欲を第一と考えている。また、個性を大切に活かし、個人の持てる能力を十分に発揮して頂けるよう配慮している。職員の意見も聞き入れるように努めている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者に対する姿勢・心構えについて、機会ある毎に伝達し、職員の意識向上に常に取り組んでいる。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	機会ある毎に研修の参加を呼び掛け実践している。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設見学や紹介・行事への合同参加等を通じて、サービスの質の向上にむけた取り組みをしている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スポーツレク・食事会等、親睦を図るための機会を設け、管理者や職員も気兼ねなく話せる機会を設けている。	1	関連施設合同やホームで新年会・忘年会・食事会・スポーツレクを開催し、職員間でも気兼ねなく話せる機会を設けている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力や実績は最大限の評価をし、勤務に対しても過度の負担やストレスがかからないように常に把握し改善をすることで、働く意欲を損なうことのないように努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1 相 談 か ら 利 用 に 至 る ま で の 関 係 づ く り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	来園または訪問等で、本人と面談する機会を設け、出来る限り本人より話を聞くようにしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者や家族の都合に合わせて、話し合いの機会を設けている。相談内容については必ず丁寧に聞き、細やかな対応を常に心掛けている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いを丁寧に聞き入れ、慎重に検討・判断し、家族に再度伺うようにしている。家族の了解のもと、介護計画を進めていくようにしている。	0	
		28 外 部 評 価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	必要とするサービスを受けることで、安心して生活出来ることを常に考えている。心身の状態や変化を良く見極め、プランの見直しを検討するなど、柔軟な姿勢で取り組んでいる。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	1	
係り と こ れ な 関 係 づ く り と こ れ ま で の 支 援	29 外 部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の得意とするものを介護に携わりながら話を聞き出し、機会を見つけて一緒に習い事したり、得意とする手芸や料理等を一緒にやるようにしている。	1	編み物が上手な利用者に、毛糸の帽子の作り方を習ったりしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の近況報告は機会ある毎に行っている。状態を良く知ることによって安心感を持って頂けるように努め、必要な援助を以てすることも出来ている。ホームと家族が一体となって利用者を支え合う事が出来ている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方の考え方や要望をしっかりと受け止め、お互いが一番安心して生活できる状態の構築に努めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームへ来訪して頂く機会を設けたり、電話や直接訪問したいなど、利用者の要望に応えるようにしている。日帰り旅行気分ですその場所へ同行する等もしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	読書好きの利用者間で本の貸し借りをしている。新聞も数社から取っている。これを交換して取っていない方も回し読みをする等、利用者間の交流も図れている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当園で過ごされた日々が、今後の生きる糧となるよう、電話による交流や写真を送るなどしている。園の行事にも招待をしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	5	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	2	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		家族の話を良く聞くことに努め、意向に沿ったケアプランやサービスを立案し実施している。変化していく中で困難となった場合は、利用者本人の思いを優先し、家族にも協力を求める努力をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アルバムや部屋の調度品・装飾品を手掛かりに、一番楽しかった時代、輝いた時代、懐かしかった時代の思い出を回想し、心の安定を図っている。	1	家族や本人から以前の生活習慣や暮らし方等を聞いたり、写真や装飾品等から懐かしかった頃の思い出等を伺っている。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録を毎日記載し、一日の過ごし方や心身状態等は十分に把握している。連絡帳により情報の共有化を図っている。また会議や職員朝礼でも周知徹底を図っている。	1	職員全員が把握出来る様に、常に連絡帳に記入し、一人ひとりの過ごし方や心身状態等も毎日介護記録に記載している。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、スタッフ、家族と話し合い、必要に応じては医療関係者共話し合い、それに基づいて意見やアイデアを反映した介護計画の作成を実施している。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の現状に即した最適なケアを実践するためにも、介護計画の見直しは必要不可欠であるため必ずやっている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルにケアの実践・気付き・結果・工夫を記入すると共に、早急の対応が必要な事柄については、掲示したり関係者へ伝えたりと、情報伝達の周知徹底を図りながら実践や介護計画の見直しを行っている。	1	個人ファイルに毎日のケアの実践等を記入し、問題点・課題点・状態不良等は介護日誌に抜粋し職員間で共有し介護計画の見直しを行っている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々々の要望に応じて利用者や家族へ連絡を密に取りながらその時の状況を踏まえつつ十分に話し合い、要望に応えられるよう事業所の多機能性を活かし、柔軟かつ円滑に支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	隣接施設の利用者との交流あり。受け入れやこちらの以来にも快く応じてくれている。消防関係者の応援も得ている。フラワーアレンジ教室や陶芸教室の見学や参加も実施している。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人と繋がりがあったケアマネージャーに相談することもあり、適切な応援を得ている。地域のサービス事業者とも交流を持ち、地域行事の合同参加やレク等の活用をしている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	より良いケアを実践するため、地域包括センターに問い合わせをし、適切な助言を頂くこともある(同意書のサイン等)。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関としてホームドクターは存在しているが、それ以外にも利用者の希望するかかりつけ医にはドクターにも相談をして希望が叶うように支援している。	1	家族との都合も合わせ、一緒に受診するための送迎も行っている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣の病院にも受診し、信頼関係を深め、相談できるような関係を築き上げている。それにより適切な治療を受けられるようにしている。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関の看護師や通院する地域の看護師にも相談する機会も多くあり、利用者の健康管理に充分活用出来ている(入浴・食事・寝具・睡眠等多方面に渡り助言あり)。	1	利用者の一泊(日勤帯・夜勤帯)を、把握して頂くためにも看護師を雇用し健康管理・服薬管理等の助言の支援がある。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	安心した入院生活が送れるように、また、出来るだけ早期に退院が出来るように、日頃からの生活習慣や心身の状態を詳しく病院関係者へ伝えると共に、お見舞いに伺ったり家族や病院関係者へ状態等の確認・相談に努めたりと、常に連携をとっている。	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居当初より終末期のあり方について、本人や家族並びにかかりつけ医等と話し合い、必要に応じて繰り返しかかりつけ医から終末期のあり方についての具体的な選択肢を提示し、要望を受け入れて頂き、全員が納得して方針を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人及び利用者には、入居当初より出来ること・出来ないことを具体的に説明し納得して頂き、かかりつけ医と共にチームとして支援に取り組んでいる。今後の変化を十分に予測し、関係者と一丸となって十分に検討し準備を行っている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	別の居所へ移り住むまでの過程において、本人・家族・関係者間で連絡を密に取りながら情報交換し、納得できるまで話し合い理解を深め、家族及び本人が安心して移り住むように至っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	35	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	28	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	丁寧な言葉使いと柔らかな態度で接し、訪室の際にも必ず居住者の意思確認を図っている。記録類の管理は徹底し、個人情報の保護は保たれている。	1	職員は常に丁寧で柔らかな言葉使いで接している。時には朝の体操や午後のレクで砕けた言葉使いで利用者と笑いを共有している。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	介護者の思いが優先してしまうような会話はしないように努め、十分に傾聴し、利用者が意思を表出出来るようその方のペースに合わせた対応をしている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望は出来る限り受け入れ希望に沿った支援をする為に、職員体制を立て直すこともある。	1	買い物に行きたいという希望があればお連れし、天気が良く散歩の希望があれば同行し、満足して頂けるように支援している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	決して無理強いせず本人の望まれる事を理解した上で適度なお洒落を進める等している。	1	訪問理容の他にも行きつけの店がある方は、その方の希望に沿うようにしている。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを良く聞く様にしている。食に関してのコミュニケーションを図り、その中から献立作りのヒントになるような事を聞く様にしている。少数でも個人の好みに合わせた調理を心掛けている。買い物から下拵え・配膳・食器の片付け等も進んでされている。	1	手作りおやつ等も利用者と一緒に作る機会を設け、楽しく食されている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品に関する情報は職員が共有し、一人ひとりの要望を聞き入れ購入・提供を実践している。冷蔵庫内に個人の預かり品スペースを設ける工夫もしている。	1	本人が購入されたおやつには個人名を書き持ち主が解る様にし、古くならない様に声掛けを行っている。また、りんご等は皮を剥いて提供している。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中オムツ・パットを使用している方でも、必ずトイレ誘導や便座にて排泄の支援をしている。オムツを出来る限り使用しないで済むように一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間おきのトイレ誘導を行い、自立に向けた支援をしている。	1	頻尿傾向の方でも本人の希望があればトイレ誘導している。
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	概ね男性・女性の入浴日の設定はしているが、個人の希望も取り入れ自由に入れるようにしている。	1	病院受診等で入浴時間がとれそうにないときも、本人の希望があれば、いつでも入浴出来る様にしている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ほとんどの方が夜間静かに入眠されているが、中途覚醒や頻尿傾向の方は、昼間散歩や読書等で出来るだけ起きて頂く時間を作り出し、安眠に繋げている。眠剤と薬時間を個人の生活のリズムに合わせている。室内の環境整備（エアコン調整）に配慮している。	1	不眠があったり体力のない方は、日中1～2回ベッドで休息して頂ける様に声掛けをしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61～66・外部 27～28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で発生する様々な事を利用者一人ひとりの能力に応じてお手伝いをして頂くようにしている。役割分担により張り合いをもたれ、日々定着している様子が伺える	1	廊下のモップ掛けや洗濯物の片付け、食器洗い等を自主的にされた場合でも、利用者はお礼を言われる（させてもらえてありがとうございます）。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分の好きなタイミングで近くの販売機で購入している。訪問販売の利用者もいる。買い物・レクリエーションでは自分で支払いもしている	1	お金の管理が出来ない方でも、買い物へ行って支払いをする時に職員がお金を手渡し、本人に支払って頂く様にしている。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・郵便局・銀行・買い物等、目的は多種多様である。毎週月曜日のレクリエーション以外にも、一人ひとりのその日の希望は叶えられている。ドライブも気軽に行っている	1	天気の良い日は必ず園外の散歩をしている。外出の希望があれば時間を作り行っている。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	昔馴染みの場所に行きたい、思い出を辿ってみたい、家族に会いたい等個人の要望は様々であるが、どの要望にも前向きに対処している	1	事前に職員の勤務体制など考慮し予定を組み、計画性を持って実践している
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族のことを案じたり気にされる時には、声の便りともなる電話を進めている（事前に家族の了解は得ておく）。手紙や年賀状も近況報告の一端として出すことを進めている	1	不穏状態にある時等、電話で家族とお話して安心して頂けるようにしている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	気軽に訪問して頂ける様機会ある毎に声かけし、来訪に対し感謝の意を表している。湯茶の接待も行い、また、自由に使って頂けるようにしている	1	職員も来訪者には明るく笑顔で挨拶をして気を遣わない様に配慮している。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	7	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド柵を枕元のみにし足元にはセンサーを設置し対応している。本人の使いつけの品物で対応し、少しでも拘束と考えられるような特別な用具は一切使用しないようにしている	1	センサー等も本人にとって拘束感を与えない様細心の注意を払っている。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関から出入りする方に関してはセンサーでキャッチし、出入り口に近い場所には必ずスタッフもいる為、鍵はかけなくても安全確認出来る体制となっている	1	センサーチェック担当者を一名決めて、重点的にケアを行っている。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間の定時の巡回も睡眠を妨げることのないよう十分な気配りをして安全確認をしている。着座センサー・足元センサー等有効活用して利用者の自由な動きを妨げることなく安全確認をしている	1	トイレで転倒する危険性のある方には、様子見出来る程度にドアを閉め安全確認をしている。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	爪切りやはさみ等その方にとって生活上必要とされる物は身近に置き、紛失のない様随時確認をしている(バイタルチェック・掃除・エアコン調整・窓の開閉等の機会に)	1	ハサミや剃刀等は、管理出来る方・出来ない方を見極め、本人に了解を得た上で預かっている。	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態を的確に見極めることがまず第一である。それを実践した上で、職員も全員一丸となって事故防止に取り組んでいる	1	誤嚥しそうな方の居室には食物は一切置かず預かり、食される時は職員が付くようにしている。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員は訓練を受け、介護の現場においても実践できている。	1	A E D 講習受講。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により防災訓練や自主訓練も行っている。隣接する施設の協力も速やかに得られる(日中に職員も多く夜勤者もいるため)。	1	火災通報装置の設置や消防署の協力による防災訓練を行っている。また隣接する関連施設との連携や夜勤帯でも2名体制で対応している。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族に対する説明が速やかに行い危険回避の対応策を十分な話し合いの下、検討している。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェック一覧表(人目で分かる工夫)、職員の申し送りノート、介護日誌、個人カルテ、主治医へ連絡し支持を仰ぐ等、職員間で情報の共有は充分に出来ている。	1	9時・16時のバイタルチェック、ユニット毎のバイタル一覧表、申し送りノート、介護日誌、個人カルテ、主治医への迅速な連絡などで職員間で情報の共有をしている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に関する知識を高める為に、全職員が薬の管理に携わっている。服薬一覧表も作成しリアルタイムで状況を把握する事を可能としている。	1	薬の変更や臨時薬が処方された時は、申し送りノートに記録しボックスにメモを添付し、誰が見ても解るようにしている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘により不安定となる為、個人に合ったの字体操や水分摂取を促し、必要量摂取できるようあらゆる方法を駆使して実践している。ペットボトル、水筒を所持している。居室での水分摂取を可能にしている。	1	毎食後の水分補給、10時の体操後のおやつを兼ねた水分補給、15時のおやつを兼ねた水分補給や希望者にはペットボトル等に水分を入れ居室でも気軽に水分摂取が可能である。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必ず声かけをして準備をしている。要介助以外の方は、事後確認をする。うがい薬も準備して実施できていた時にありがとうございますの言葉をかける。	1	日中のうがい、歯磨きの声かけや義歯使用者は夜間洗浄剤を使用している。
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の食に対する考え方を、よく理解する事から始め、実際に食事を摂取される状態を把握し献立、調理を工夫し個人の嗜好により近づく調理の方法を実践している。	1	毎食後の水分補給、10時の体操後のおやつを兼ねた水分補給、15時のおやつを兼ねた水分補給や希望者にはペットボトル等に水分を入れ居室でも気軽に水分摂取が可能である。
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルがあり職場研修で学び実行に移している。	1	各居室内張り紙実施。
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	担当を決め、ふきん、まな板の消毒を実践している。食材のチェックもこまめに行っている。	1	食事の作り置きをしない。夜間にまな板、布巾等のキッチン周りを消毒している。
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	7	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	4	
	2 生活の環境づくり	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	手作りのウエルカムボードを設置したり、季節の草花を植えたり、外観にはいつも気遣いをしている。また通りに面している為、窓越しでも必ず挨拶声かけをしている。	1	一般住宅用の玄関戸を使用し、利用者・ご家族・訪問者等に圧迫感を与えず家庭的な工夫をしている。ホール内には利用者が参加された行事の写真のアルバムを並べ、ソファやテーブルを設置し憩いの場を提供している。
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	BGM、テレビ等も常に適音になるように調整し、カーテンの開閉もこまめに行い整理整頓するなかにも利用者が自由に使ってもらえるような空間作りの工夫をしている。	1	ホーム全体でブラインドではなくカーテンとレースを使用し採光に配慮している。特にリビングは利用者の交流スペースとなっている為、テレビや童謡等を流し過ごしやすい環境作りをめざしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングもゆったりとした雰囲気を大切にしている為、利用者のくつろぎの場となっている。玄関ホールも談話スペースとして活用できるよう配慮している（アルバムや本、自作の品を展示する等）。	1	リビングでは円卓テーブルを使用し食事だけに限らず交流の場になっている。隣には八畳の畳コーナーも設けており洗濯たたみや、おやつ時の憩いの場になっている。	
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者家族の気持ちを優先し、充分に話し合いを行い住みよい居室になる様話し合いを行っている。	1	居室には利用者が長年使い慣れた調度品・家具類を持ち込まれ居心地よく生活できるように配慮している。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気の状態、入居者の状態を判断し、窓の開閉を行っている。空気清浄機も設置している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行移動時に必要な手摺り、杖、歩行器、シルバーカー等の設備もありセンサーも取り付け利用者の動きを迅速にキャッチし適切な介助、見守りを実践している。	1	廊下・浴室内の手摺りを設置し、利用者の状態変化にも対応出来る様に杖・歩行器・シルバーカー・車椅子を用意している。またホーム出入口にはセンサーを設置し利用者の安全も確保している。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室はネームプレートや手作り品、花などで工夫をしている。浴室、トイレにもプレート以外に利用者へのメッセージ等を付け加えている。	1	居室ドアには花を飾ったり、オリジナルのネームプレートを設置し利用者の目印となる様に工夫している。また居室内には一日の流れ・入浴日・食事時間を記載したものを貼っている。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	利用できるスペースは十分にあるので、すべて開放している。大きなプランターは季節の花、野菜等の栽培に利用している。	1	暖かい日は椅子を用意して外でのお茶を楽しんで頂いている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。